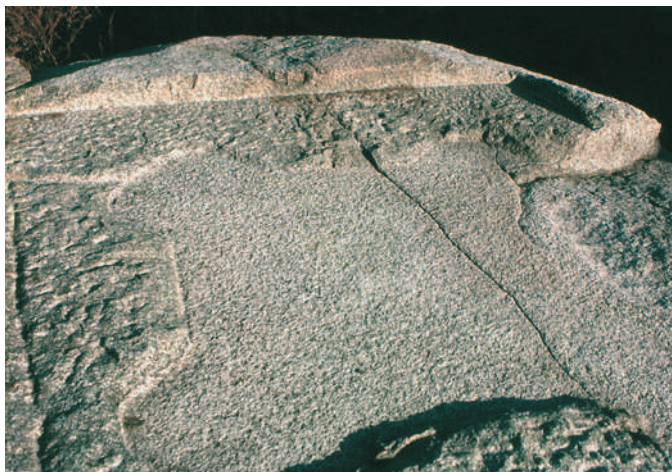


立正大学博物館 第1回企画展

写真でみる

日本古代木造塔の心礎

— 岩井隆次氏寄贈写真による —



大和・若草伽藍心礎

期間：平成15年7月7日(月)～8月4日(月)

立正大学博物館

—協力—

- 松原 典明（仏教石造文化財研究所）
- 立正大学考古学研究室

開催にあたって

立正大学博物館の第1回企画展として「写真でみる日本古代木造塔の心礎」を開催することになりました。

古代の塔心礎は、塔婆の建築にあたってもっとも重要な中心的な存在です。しかし、建築が成りますと礼拝する人々の眼にふれることがない礎石です。ただ塔が失われ廃寺と化したとき、心礎はその寺の生い立ちを雄弁に語る資料として注目されることになります。

このような心礎を全国に訪ねて写真に収められた岩井隆次氏は、心礎研究の完成に際して立正大学考古学研究室にその記録を寄贈してくださいました。いまから20年以前のことです。

このたび、第1回の企画展を開催するにあたって、岩井氏の積年にわたる研究の軌跡を考古学・歴史学・仏教史・建築史などの研究者と塔に関心をもたれる皆様方に紹介させて頂くことにしました。

あわせて『日本の木造塔』—心礎集成とその分析—と題する貴重な著作の存在を多くの人びとに知って頂きたい、と願っています。

平成15年7月

館長 坂詰 秀一

塔心礎研究の回顧と岩井氏の新研究

塔心礎の総括的研究としては、石田茂作先生の先駆的な業績「塔の中心礎石に就て」がある。それは昭和7年に『考古学雑誌』（第22巻第2、3号）に発表され、塔心礎の形式・心礎と高さと層数との関係・心素溝孔の問題について論じられたものであった。

その後、心礎についての研究は、足立康（「心礎分類法と舞木廃寺心礎」『考古学』第9巻第7号、昭和13年）・田中重久（「塔婆心礎の研究」『考古学』第10巻第6号、昭和14年、『聖徳太子御聖跡の研究』昭和19年所収）両氏などによって、それぞれ独自の視点よりの見解が公けにされたが、大勢として学界の方向は石田見解に依拠してきたといえるであろう。

石田見解によって、心礎は一類～六類に6分類され（ただし、四類はA・Bに細分されるので七亜類）、塔高は心礎柱座径の四〇倍前後であることが示された。さらに、塔の一辺長と心礎の柱座径とが相関関係を持ち、その倍率によって三・五・七重塔の別が想定されることを明らかにされたのである。また、心礎表面における溝のあり方に六種があることを指摘され、それが排水の目的をもつ可能性について論じられたのであった。

このような石田先生の研究は、その後、各地における古代寺院址の調査に際して参考にされてきたことは衆知の通りである。その後の先生の心礎に関する研究について私が知りうるのは、立正大学における講義（仏教文化史）の折に新資料について紹介せられたのと、昭和38年に『真珠』誌上に連載された「塔の心礎を尋ねて」（1～4）くらいである。

「塔の中心礎石に就て」は、後に『伽藍論攷』（昭和23年）に、さらに著作集『仏教考古学論攷』四・仏塔編（昭和52年）に収録されたが、とくに後者には「後記」と「塔の中心礎石の写真と実測図」が添えられた。「後記」によれば、資料の集大成は後日を期されたが、ただ古瓦の時代観の修正をされていることが知られる。また、写真は95、実測図は41が収められている。

さて、かかる石田先生の研究によって、ほぼ完成の域に達したかのごとき感のあった心礎について、私が改めて関心をもつようになったのは、東アジアにおける双塔伽藍について注目し、その資料の検討を心掛けるようになってからであるが、さらに、一昨年に雄山閣出版の芳賀章内編集長の紹介によって岩井隆次氏と面識をもったこともそれに拍車をかけることになった。

岩井氏は、四〇余年間にわたり全国に心礎を追い続けておられる篤学の士である。氏は、その後、たびたび私の研究室に見えられ、関係文献を紐解かれるようになった。氏は、すでに「塔心礎の分類に就いて」（『古代文化』第30巻第8号、昭和53年8月）を公けにされ、石田見解に立脚されつつユニークな視点より分類論を展開されていたが、このたび、雄山閣出版の高配を得てそれを増補訂正され一書を公けにされることになり、その書に一文を寄せるように慫慂された。もとよりその任にない私としては再三にわたって固辞したが、全国に散在する300近くの大部分を実施踏査された氏の情熱と真摯な学究態度に、常日頃、大いに啓発されている者として、また、かつて親しく教えを受けた心礎研究の先達石田先生の温容を想い浮かべ乍ら筆をとらせて頂くことになったのである。

本書は、まさに著者の四〇余年にわたる心礎探求の足跡を示したものであり、一朝一夕にして成ったものではない労著である。

石田先生の研究以後、半世紀を閲して公にされる本書は、まさに今後における心礎研究の抛るべき労作として永く関係学界に膾炙されることは疑いない。私も改めて著者の学恩を蒙ることになるであろう。

昭和57年3月

於 立正大学文学部考古学研究室 坂 詰 秀 一

岩井隆次著『日本の木造塔』—心礎集成とその分析—（考古学選書20 昭和57年6月10日刊の「序文」転載）

展観写真一覧表

塔跡名	推定時代	所在地	分類
1 陸奥国分寺	平安初期	宮城県仙台市木の下	川原寺式
2 多賀城廃寺	奈良	宮城県多賀城市高崎	川原寺式
3 武井遺跡	白鳳	群馬県勢多郡協和町久地	土師寺式
4 山王廃寺	白鳳	群馬県前橋市総社町	山王廃寺式
5 龍角寺	白鳳	千葉県印旛郡栄町	知識寺式
6 九十九坊廃寺	奈良	千葉県君津市内簗輪	長林寺式
7 武蔵国分寺	奈良	東京都国分寺市西元町	川原寺式
8 寺本廃寺	白鳳	山梨県東山梨郡春日町寺本	知識寺式
9 甲斐国分寺A塔	奈良	山梨県東八代郡宮町国分	土師寺式
10 美濃国分寺	奈良	岐阜県大垣市青野町	本薬師寺西塔式
11 飛騨国分寺	奈良	岐阜県高山市総和町	土師寺式
12 北野廃寺	白鳳初頭	愛知県岡崎市北野町	川原寺式
13 夏見廃寺	白鳳末期～奈良初頭	三重県名張市夏見	長林寺式
14 普光寺	白鳳	滋賀県彦根市普光寺	知識寺式
15 南滋賀廃寺	白鳳	滋賀県大津市南滋賀町	桧前寺式
16 丹波国分寺	奈良	京都府亀岡市千歳町	元興寺式
17 高麗寺	白鳳	京都府相楽郡山城町上狛	崇福寺式
18 山城国分寺	奈良	京都府相楽郡加茂町	元興寺式
19 百濟寺西塔	奈良末	大阪府枚方市中宮	元興寺式
20 野中寺	白鳳初期	大阪府羽曳野市野々上	桧前寺式
21 播磨国分寺	奈良	兵庫県姫路市御国野町国分寺	本薬師寺西塔式
22 多田廃寺A塔	白鳳	兵庫県姫路市山田町多田	山王廃寺式
23 秋篠寺東塔	奈良	奈良県奈良市秋篠町	元興寺式
24 東大寺東塔	奈良	奈良県奈良市雑司町	元興寺式
25 元興寺	奈良	奈良県奈良市芝新屋町	元興寺式
26 大安寺西塔	奈良	奈良県奈良市大安寺町	元興寺式
27 西大寺東塔	奈良	奈良県奈良市西大寺町	元興寺式
28 唐招提寺	平安初期	奈良県奈良市五条町	川原寺式
29 若草廃寺	飛鳥	奈良県生駒郡斑鳩町法隆寺	橘寺式
30 本薬師寺東塔	白鳳	奈良県橿原市久米	桧前寺式
31 薬師寺西塔	奈良	奈良県奈良市西の京町	桧前寺式
32 豊浦寺	飛鳥	奈良県高市郡明日香村豊浦	土師寺式
33 橘寺	白鳳初頭	奈良県高市郡明日香村橘	橘寺式
34 比叢寺東塔	白鳳	奈良県吉野郡吉野町山口	長林寺式
35 紀伊国分寺	奈良	和歌山県那賀郡打田町東国分	本薬師寺西塔式

36	西国分廃寺	白鳳	和歌山県那賀郡岩出町西国分	桧前寺式
37	上野廃寺西塔	白鳳	和歌山県和歌山市上野	桧前寺式
38	栃本廃寺西塔	白鳳末期～奈良初頭	鳥取県岩美郡国府町栃本	桧前寺式
39	寺町廃寺	白鳳初頭	広島県三次市向江田町寺町	長林寺式
40	宮の前廃寺	奈良初頭	広島県福山市蔵王町	長林寺式
41	安芸国分寺	奈良初頭	広島県東広島市西条町	土師寺式
42	阿波国分寺	奈良	徳島県徳島市国府町	舞木廃寺式
43	比江廃寺	白鳳	高知県南国市比江	桧前寺式
44	椿市廃寺	白鳳末期～奈良初頭	福岡県行橋市椿市町福丸	川原寺式
45	豊前国分寺	奈良	福岡県京都郡豊津町国分	川原寺式
46	肥後国分寺	奈良	熊本県熊本市出水町	川原寺式

川原寺式



宮城県・陸奥国分寺



宮城県・多賀城廃寺

元興寺式



奈良県・秋篠寺東塔



奈良県・大安寺西塔

山王麿寺式



群馬県・山王麿寺



兵庫県・多田麿寺 A 塔

知識寺式



千葉県・龍角寺



滋賀県・普光寺

長林寺式



千葉県・九十九坊麿寺



奈良県・比叡寺東塔

土師寺式



岐阜県・飛騨国分寺



奈良県・豊浦寺

桧前寺式



滋賀県・南滋賀廃寺



奈良県・薬師寺西塔

元興寺式



京都府・山城国分寺



大阪府・百濟寺西塔

崇福寺式



京都府・高麗寺

舞木廃寺式



徳島県・阿波国分寺

本薬師寺西塔寺式



岐阜県・美濃国分寺

橘寺式



奈良県・橘寺

古代主要木造塔跡一覽

塔跡名	所在地	心礎の様式	排水溝	側柱礎 四天柱礎	心礎の位置	塔の一辺長	推定 建造年代
門岡庵寺	岩手県北上市稲瀬町門岡	靈安寺式		側柱礎 12 } 完 四天柱礎 4 } 存	原位置	4.57 m 15 尺	平安初期
陸奥国分寺	宮城県仙台市木の下	川原寺式	放射状 1 (右の割れ 目を利用)	側柱礎 10 4個のみ原位置	"	9.8 m 32.3 尺	奈 良
多賀城庵寺	" 多賀城市高崎	" (穴の底部に陰刻あり)		側柱礎 12 } 完 四天柱礎 4 } 存	"	6.23 m 20.57 尺	"
笠島庵寺	" 名取市愛島笠島	靈安寺式(心礎なりや否や疑問あり)		側柱礎 2	"(?)		"
郡山台庵寺	福島県二本松市郡山台	長林寺式					"
夏井庵寺	" いわき市平下大越	(円柱座のみの礎石あり。心礎なりや否や不明)					"
新治庵寺東塔	茨城県真壁郡協和町久地	川原寺式			原位置		白鳳末期~ 奈良初期
" 西塔	" "	なし		四天柱礎 1			"
常陸国分寺	" 石岡市国分	長林寺式					奈 良
大内庵寺	栃木県真岡市泉原飯貝	"		四天柱礎 1			白鳳~奈良
下野葉師寺	" 河内郡南河内町	なし(基壇あり)			原位置	10.9 m 36 尺	奈 良
下野国分寺	" 下都賀郡国分寺町	川原寺式		側柱礎 4 四天柱礎 2			白 鳳
武井庵寺	群馬県勢多郡新里村武井	土師寺式(造り出し柱座二段石塔か)			"		白 鳳
上野国分寺	" 群馬郡群馬町東国分	川原寺式(心礎上に石碑あり)		側柱礎 9 四天柱礎 4	"	10.7 m 35.3 尺	奈 良
山王庵寺	" 前橋市総社町	山王庵寺式(壇下式。舍利孔あり。ほか七弁花形根巻石あり)	環状 1 放射状 4	側柱礎 5 (移動)			白 鳳
勝呂庵寺	埼玉県坂戸市勝呂	不明(心礎上部破壊)					奈 良
下総国分寺	千葉県市川市国分町	なし(基壇あり)					"
龍角寺	" 印旛郡栄町	知識寺式	放射状 2		原位置		白 鳳
上総国分寺	" 市原市惣社	本薬師寺西塔式		四天柱礎 3 側柱礎 5	"	9.1 m 30 尺	奈 良
九十九坊庵寺	" 君津市内箕輪	長林寺式		四天柱礎 4 (2個移動)	"	5.4 m 17.7 尺	"
武蔵国分寺	東京都国分寺市西元町	川原寺式(穴の一部破壊)		側柱礎 5 四天柱礎 2	"	10.1 m 33.3 尺	"
京所庵寺	" 府中市京町	長林寺式?(墓石の台石となり上部破壊心礎なりや否ややや疑問)					"
形向寺	神奈川県川崎市高津区	崇福寺式(孔に接して舍利孔あり)					奈良初期
相模国分寺	" 海老名市国分	亡 失(土師寺式)		側柱礎 7 四天柱礎 4		10.6 m 35 尺	奈 良
伊豆国分寺	静岡県三島市泉町	亡 失		側柱礎 6 四天柱礎 2		9.5 m 31 尺	"
市ヶ原庵寺	" " 大社町	山王庵寺式(舍利孔あり。中央部やや隆起)					白 鳳
日吉庵寺	" 沼津市日吉	本薬師寺西塔式(奈良時代に心礎改造か)		側柱礎 12 四天柱礎 3 一部移動		7.3 m 24 尺	奈 良
駿河長谷寺	" 静岡市沓谷	(長林寺式)(後世手水鉢となり孔拡張)					"
遠江国分寺	" 磐田市国府台	元興寺式(出柄磨耗)		側柱礎 1	原位置		"
竹林寺	" 島田市南原	なし(基壇あり)					"
長福寺 A	愛知県一宮市千秋町	川原寺式(後世の陰刻あり)					白 鳳
" B	" " "	長林寺式(一部欠損。長福寺 Aとは別の寺)					奈 良

塔跡名	所在地	心礎の様式	排水溝	側柱礎 西天柱礎	心礎の 位置	塔の 一辺長	推定 年代
尾張弥勒寺	愛知県西春日井郡西春日 弥勒町	寔安寺式(心礎なりや否や不明)					白 鳳
大山庵寺	" 小牧市大山	舞木庵寺式	放射状 2	側柱礎 12 1 完存 四天柱礎 4 1 完存	原位置	7 m 23 尺	奈良末期~ 平安初期
尾張園分寺	" 稲沢市矢合	本薬師寺西塔式(出納磨耗)			"		奈良末期~ 平安初期
甚目寺	" " 甚目寺町	捨前寺式(心礎を鐘突堂石垣 に転用。舍利孔方形)	環状 1 (穴 の底部) 放射状 2				奈 白 鳳
白 鳳 寺	" 豊田市猿投町	舞木庵寺式(舍利孔く方形) あり。心礎周囲欠損)		側柱礎 1 (?)			奈 良
舞木庵寺	" " " 舞木	舞木庵寺式(舍利孔あり)	放射状 1		原位置		奈良初期
文護寺	" " 寺部町	捨前寺式(舍利孔方形く西側 に偏る)石塔あり)					"
法海寺 (尾張寺 本庵寺)	" 知多市八幡平井	山王庵寺式	環状 1 放射状 1				白 鳳
北野庵寺	" 岡崎市北野町	川原寺式	放射状 1		原位置		白鳳初期
寺領庵寺	" 西尾市桜町	舞木庵寺式					奈良末期
医王寺	" 宝飯郡小坂井町篠 栗字郷中	本薬師寺西塔式(出納磨耗)					"
三河園分寺	" 豊川市八幡町	不 明(心礎上部後世削平 ?)		側柱礎 1	ほぼ 原位置 原位置		奈 良
杉崎庵寺 東塔	岐阜県古城郡古川町杉崎	睡多庵寺式(あるいは山王庵 寺式)	放射状 7 (磨耗)				白 鳳
上町庵寺	" " 古川町	川原寺式					"
飛騨園分寺	" 高山市総和町	土師寺式					奈 良
正家庵寺	" 恵那市長島町	な し(基礎あり)					奈良末~ 平安
大隆寺A塔	岐阜県岐阜郡大野町小衣 斐	長林寺式	放射状 1				白 鳳
" B塔	" " "	"					"
美濃弥勒寺	" 関市池尻	知識寺式(舍利孔あり)	放射状 1	側柱礎 4	原位置	6.4 m 21 尺	"
厚見庵寺	" 岐阜市寺町	捨前寺式(蓋受孔あり (三段孔式))					"
護国寺	" " 長良	長林寺式			原位置		奈良末期
美濃山田寺	" 各務原市蘇原	捨前寺式					白 鳳
平蔵寺	" " 熊田	長林寺式(半分のみ残存)					"
宮代庵寺	" 不破郡垂井町宮代	川原寺式	放射状 1		原位置		"
美濃園分寺	" 大垣市青野町	本薬師寺西塔式		側柱礎 4	"	10.8 m 35.6 尺	奈 良
信濃園分寺	長野県上田市園分	な し(心礎据付跡あり)					"
寺木庵寺	山梨県東山梨郡春日居町 寺本	知識寺式	放射状 1	側柱礎 3		7.3 m 24 尺	白 鳳
甲斐園分寺A	" 東八代郡一宮町園 分	土師寺式		側柱礎 11 四天柱礎 2	原位置	9.65 m 32 尺	奈 良
" B	" " "	長隆寺式(6片に分れている)					白 鳳
佐渡園分寺	新潟県佐渡郡真野町	長林寺式		側柱礎 2	"	9.8 m 32 尺	奈 良
能登園分寺	石川県七尾市近所園分寺	"					"
しゃこで庵寺	" 羽咋市柳田	川原寺式					"
末松庵寺	" 石川郡野々市町	"			原位置	11 m 36 尺	白 鳳
弓波庵寺	" 加賀市弓波町	" (穴の底部に三日月 形の大小2つのほり込みあり)	放射状 3				"
宮地庵寺	" " 宮地町	捨前寺式(大きい割れ目あり)			原位置		"
篠尾庵寺	福井県福井市篠尾	捨前寺式		側柱礎 5 (移動)	原位置		"
大虫庵寺	" 武生市大虫本町	長林寺式					白鳳末期~ 奈良初期

塔跡名	所在地	心礎の様式	排水溝	側柱礎 四天柱礎	心礎の 位置	塔の 一辺長	推定 建造年代
野々宮廃寺 A塔	福井県武生市五分市町	長林寺式(心礎を小丸城の城壁の一部に転用)					白鳳
" B塔	" " "	長林寺式			原位置		"
若狭国分寺	" 小浜市国分	元興寺式(心礎なりや否やや疑問)		側柱礎2 (原位置)		8.1 m 26.73 尺	奈良
太興寺	" " 太興寺	(長林寺式)(後世手水鉢となり孔に加工)					"
新庄馬場廃寺	滋賀県長浜市新庄馬場	舞木廃寺式			原位置		奈良末期
榎木廃寺	" " 榎木町	長林寺式			原位置		"
普光寺	" 彦根市普光寺	知識寺式	放射状 1				白鳳
蚊野廃寺	野 愛知郡秦荘町北蚊	靈安寺式(心礎なりや否やや疑問)					白鳳
近江百濟寺	" " 愛東町百濟寺	松前寺式(舍利孔方形)		側柱礎12 } 完存 四天柱礎4 }		5.4 m 17.82 尺	白鳳
法堂寺	" 神崎郡能登川町野	知識寺式(舍利孔及び蓋受孔あり(三段孔式))	放射状 2				"
雪野寺	" 蒲生郡龍王町川守	不明(上に石塔あり)		側柱礎5(亡失)		6.7 m 22 尺	"
宮井廃寺	" " 蒲生町宮井	知識寺式(舍利孔あり)			原位置		"
崇福寺	" 大津市滋賀里町	崇福寺式(地下式。心礎側壁に舍利孔)		側柱礎12 } 完存 四天柱礎4 }		6.24 m 21 尺	白鳳初期
南滋賀町廃寺	" " 南滋賀町	松前寺式(蓋受孔あり(三段孔式))			ほぼ原位置		白鳳
国昌寺	" " 北大路町	元興寺式					奈良
瀬田廃寺	" " 神領	長林寺式		側柱礎4 } 完存	原位置	6.3 m 21 尺	"
石居廃寺	" " 田上石居町	土師寺式					"
衣川廃寺	" " 衣川町西羅	なし(基壇あり)					白鳳
笠寺廃寺	" 草津市南笠	川原寺式					白鳳
花摘寺	" " 下物町	不明(上部加工し破壊)					"
甲賀寺 (甲司寺)	" 甲賀郡信楽町黄瀬	靈安寺式(心礎上部欠損)		側柱礎12 } 完存 四天柱礎4 }	原位置	9.1 m 30 尺	奈良
俵野廃寺	京都府竹野郡網野町木津	長林寺式(1/3欠損)					"
多保市廃寺	" 福知山市六人部	長林寺式					奈良末期~ 平安初期
和久寺	" " 和久寺	"		側柱礎2			"
丹波国分寺	" 亀岡市千歳町	元興寺式		側柱礎12 } 完存 四天柱礎4 }	原位置	9.15 m 30 尺	奈良
与能神宮寺 (与能廃寺)	" " 曾我部町	川原寺式		側柱礎5			白鳳末期~ 奈良初期
北白川廃寺	川 京都市左京区北白川	なし(基壇あり)					白鳳初期
広隆寺	" " 右京区太秦	川原寺式(指標石の台石となる)					平安初期
八坂寺	" " 東山区八坂 通下河原東入る	松前寺式(蓋受孔あり(三段孔式)舍利孔の蓋あり。再建塔あり)			原位置		白鳳初期
壱原廃寺	" " 右京区櫻涼	川原寺式(地下式。基壇八角形)					"
宝菩提院廃寺	" 向日市寺戸	川原寺式	放射状 1				奈良
山崎廃寺	" 乙訓郡大山崎町	松前寺式(穴が掘り下げである)					白鳳初期
平川廃寺	" 城陽市平川	なし(基壇あり)					白鳳
久世廃寺	" " 久世	なし(基壇あり)					"
西山廃寺	" 八幡市橋本	崇福寺式(孔に接して舍利孔あり)		側柱礎10 四天柱礎2		5.2 m 17 尺	白鳳初期
山滝廃寺	" 綴喜郡宇治田原町	川原寺式(後世の陰刻あり)			原位置		白鳳
普賢寺	" " 山辺町	川原寺式					奈良

塔跡名	所在地	心礎の様式	排水溝	側柱礎 四天王礎	心礎の 位置	塔の 一辺長	推定 建造年代
高麗寺	京都府相楽郡山城町上狛	崇福寺式(地下式。心礎側壁に舍利孔)			原位置		白鳳初期
山城国分寺	“ “ 加茂町	元興寺式(柱座二重)		側柱礎 10 四天王礎 4	“	9.79 m 32.3 尺	奈良 白鳳
芥川麿寺	大阪府高槻市郡家	川原寺式(交叉してもう1つ穴あり)					“
摂津太田麿寺	“ 茨木市太田	松前寺式(舍利孔長方形。心礎は現在名古屋市中区白壁町にあり)					“
百濟寺東塔	“ 枚方市中宮	なし		側柱礎 5		5.6 m 18.5 尺	奈良末期
“ 西塔	“ “ “	元興寺式		側柱礎 9	原位置	5.6 m 18.5 尺	“
摂津三宅麿寺	“ 摂津市三宅町	川原寺式	放射状 2				白鳳末期～ 奈良初期
新免麿寺 (金寺)	“ 豊中市新免	松前寺式	放射状 1				白鳳
河内高宮麿 寺東塔	“ 寝屋川市高宮	長林寺式		側柱礎 3 四天王礎 1	原位置	5.27 m 17 尺	“
四天王寺	町 大阪市天王寺区元	四天王寺式(地下式。再建塔あり)			“	7.5 m 24.7 尺	飛鳥
摂津阿倍寺	“ “ 阿倍野区 現、天下茶屋公園	松前寺式(穴セメント詰め。上部も後世削平)					白鳳
波川寺	“ 八尾市波川町	十師寺式(舍利孔あり)					白鳳初期
太子堂麿寺	“ “ 太子堂	飛鳥寺式(外側全部欠損。蓋受孔あり)					白鳳
西郡麿寺	“ “ 西郡町	松前寺式					白鳳初期
河内壘分寺	“ 柏原市壘分	元興寺式(環状溝 2 本あり)		側柱礎 4 四天王礎 1	原位置	10.3 m 34 尺	奈良 白鳳
高井田麿寺 (鳥坂寺)	大阪府柏原市高井田	松前寺式(地下式)				4.8m~4.5m 16尺~15尺	白鳳初期
知識寺 (太平寺)	“ “ 太平寺町	知識寺式(一部欠損)	環状 1	四天王礎 2			白鳳
片山麿寺	“ “ 国分	川原寺式		側柱礎 3 四天王礎 2 (移動)	ほぼ 原位置		白鳳
田辺麿寺東塔	“ “ 田辺	なし		側柱礎 6		4.56 m 15 尺	奈良初期
“ 西塔	“ “ “	本薬師寺西塔式		側柱礎 9 四天王礎 4	原位置	4.56 m 15 尺	“
衣縫麿寺	府 藤井寺市美陵町	松前寺式(蓋受孔ありく三段孔式)心礎上に石碑あり)					白鳳初期
西琳寺	“ 羽曳野市古市	橋寺式(添柱穴 4。穴の底に陰刻あり。添柱穴側壁に舍利孔あり)					“
野中寺	“ “ 野々上	“ (添柱穴 3。穴底部側壁に舍利孔。心礎表面に陰刻あり)		側柱礎 12 } 完 存	原位置	5.85 m 19.3 尺	“
土師寺	“ “ 古市	土師寺式	放射状 1	側柱礎 8 (移動)	ほぼ 原位置?		白鳳
善正寺東塔 (彌生麿寺)	“ “ 寺山	中宮寺式(地下式)					白鳳初期
“ 西塔	“ “ “	“ (“)					“
飛鳥麿寺	“ “ 駒ヶ谷飛鳥	松前寺式(蓋受孔ありく三段孔式)舍利孔底部に脱湿孔あり。心礎は現在名古屋市中区白壁町にあり)					白鳳
丹比麿寺	“ 南河内郡美原町多 治井	“ (舍利孔底部に小孔あり)		側柱礎 1 四天王礎 1	原位置		“
黒山麿寺	“ “ “ 下黒山	本薬師寺西塔式			“		白鳳末期～ 奈良初期

塔跡名	所在地	心礎の様式	排水溝	側柱礎 四天柱礎	心礎の 位置	塔の 一辺長	推定 建造年代
新堂 廃寺	大阪府富田林市緑ヶ丘町	なし(基壇あり)					白鳳初期
龍泉寺	" " 龍泉	川原寺式					白
禪寂寺	" " 和泉市坂本	松前寺式(蓋受孔く方形)ありく三段孔式(舍利孔も方形)	放射状 2			6.4 m 21 尺	"
禪興寺	" " 泉佐野市長滝	川原寺式(倒置して庭石となる)					奈良
井土 廃寺	兵庫県美方郡温泉町井土	長林寺式			原位置		奈良
但馬国分寺	" " 城崎郡日高町国分寺	破壊		側柱礎 4			"
三つ塚 廃寺	" " 氷上郡市島町上田	松前寺式(傾斜)			ほぼ 原位置		白鳳
長尾 廃寺	" " 佐用郡佐用町長尾	土師寺式(舍利孔あり)			原位置		"
早瀬 廃寺	" " 上月町早瀬	長林寺式			"		奈良
吸谷 廃寺	" " 加西市北条町吸谷	川原寺式		側柱礎 12、 四天柱礎 4 (移動)			白鳳
椅鹿谷 廃寺	" " 加東郡東条町椅鹿谷	長林寺式			原位置		奈良
溝口 廃寺 A	" " 神崎郡香寺町溝口	松前寺式					白鳳
" " B	" " "	長林寺式(溝口 廃寺 A とは別の寺)					奈良
新部 廃寺 東塔	" " 小野市河合西	長林寺式			ほぼ 原位置		"
新部 廃寺 西塔	" " 小野市河合西	長林寺式(孔の周囲に一部開いたくり込みあり。心礎は現在岡山市にあり)	放射状 1				"
河合 廃寺	兵庫県小野市河合中	知識寺式(地下式)			原位置		白鳳初期
土橋 廃寺	" " 広渡町	川原寺式(心礎は現在市役所前にあり)	放射状 3				白
中井 廃寺	" " 龍野市神岡町中井	長林寺式					"
中井内 廃寺	" " 中井内	川原寺式(上に石塔あり)					"
播磨国分寺	" " 姫路市御国野町国分寺	本薬師寺西塔式		側柱礎 12、 四天柱礎 4	原位置	9.55 m 31.5 尺	奈良
北平野 廃寺	" " 地内町	土師寺式(孔底部後世丸く加工)					"
下市之郷 廃寺	" " 市之郷町	土師寺式					"
見野 廃寺	" " 男山町	松前寺式(ほかの石とともに積み上げて手水鉢となる)					白鳳
辻井 廃寺	" " 辻井町	" (大きい割れ目あり)	放射状 1		原位置		白鳳末期~ 奈良初期
多田 廃寺 A 塔	" " 山田町多田	山王 廃寺式(舍利孔あり。孔の底の縁に小孔あり)	環状 1 放射状 4				白鳳
" " B 塔	" " " "	"					"
西脇 廃寺	" " 西脇町	長林寺式					奈良
金剛山 廃寺	" " 揖保郡揖保川町金剛山	" (上に五輪塔あり)			原位置		白鳳
香山 廃寺	" " 新宮町香山	不明(上に石塔あり)					"
下太田 廃寺	" " 太子町下太田	長林寺式		側柱礎 2 四天柱礎 4	原位置		"
山角 廃寺	" " 加古川市平荘町山角	土師寺式					白鳳末期
西条 廃寺	" " 神野町西条	山王 廃寺式	環状 1 放射状 内側 1 外側 4				白鳳初期
石守 廃寺	" " 石守	川原寺式(上に石碑あり)					白鳳

塔跡名	所在地	心礎の様式	排水溝	側柱礎 四天柱礎	心礎の 位置	塔の 一辺長	推定 建造年代
中西 庵寺	兵庫県加古川市西神吉町 中西	山王庵寺式	環状1 放射状 (内側6 外側1)		原位置		白鳳初期
伊丹 庵寺	伊丹市緑ヶ丘町	なし(基壇あり)					"
芦屋 庵寺	芦屋市西山町	長林寺式(心礎上に陰刻あり)					白鳳末期~ 奈良初期
猪名 寺	尼崎市猪名寺	崇福寺式(心礎上に穴と並ん で舍利孔あり)	放射状3				白鳳
太寺 庵寺	明石市太寺町	長林寺式		側柱礎5 (内1個移動)		7.3 m 24 尺	白鳳末期
淡路国分寺	三原郡三原町八木 国分	元興寺式(上に小堂あり)		側柱礎3 四天柱礎2	原位置	7.12 m 23.5 尺	奈 良
秋篠寺東塔	奈良県奈良市秋篠町	元興寺式		側柱礎5 四天柱礎2	"	4.55 m 15 尺	"
" 西塔	" " "	"					"
東大寺東塔	" " 雑司町	" (出柄の上に横長の 突起あり。右碑の台石となり 残欠2個残存)					"
興 福 寺	" " 登大路町	" ? (再建塔あり)		側柱礎12 } 完 四天柱礎4 } 存	原位置	8.85 m 29.2 尺	"
春日御塔東塔	" " "	元興寺式(出柄に欠損あり)		側柱礎12 } 完 四天柱礎4 } 存	ほぼ 原位置	8.5 m 28 尺	平 安
" 西塔	" " "	" (出柄磨耗)		側柱礎10 四天柱礎4	原位置	8.5 m 28 尺	平安末期
元 興 寺	" " 芝新屋町	" (別に五重小塔あり)		側柱礎12 四天柱礎3	"	9.85 m 32.5 尺	奈 良
大安寺西塔	" " 大安寺町	" (出柄削り取られて なし)			"		"
塔の宮麻寺	奈良県奈良市帯解町山町	川原寺式(埋 没)			原位置		白 鳳
山村 庵寺	" " " "	亡 失(基壇あり)					"
西大寺東塔	" " 西大寺町	元興寺式(柱座八角形)		側柱礎12 } 完 四天柱礎4 } 存	"	8.36 m 27.6 尺	奈 良
" 西塔	" " "	なし(基壇あり)					"
西 隆 寺	" " "	なし(基壇あり)					"
葉師寺東塔	" " 西の京町	川原寺式(三重塔現存)		側柱礎12 } 完 四天柱礎4 } 存	原位置	7.1 m 23.4 尺	"
" 西塔	" " "	捨前寺式(蓋受孔ありく三段 孔式)舍利孔の蓋あり)	環状1(穴 の底) 隧道式1	四天柱礎2	"		"
唐 招 提 寺	" " 五条町	川原寺式(心礎は現在東京都 文京区関口町にあり。穴の底 部後世丸く加工)					平安初期
平 隆 寺 (平養寺)	" 生駒郡平群町	なし(基壇あり)					飛 鳥
毛原庵寺西塔	" 山辺郡山添村毛原	なし		側柱礎3			奈良末期
法 隆 寺	" 生駒郡斑鳩町法隆 寺	飛鳥寺式(地下式。蓋受孔あ り。五重塔現存)		側柱礎12 } 完 四天柱礎4 } 存	原位置	6.42 m 21.19 尺	白鳳初期
若 草 庵 寺	" " "	橋寺式(添柱穴4。一部欠損。 後世の方形のくり込みあり)	放射状1		ほぼ 原位置		飛 鳥
中 宮 寺	" " " 幸前	中宮寺式(地下式)			原位置		飛鳥~ 白鳳初期
法 起 寺	" " " 岡本	捨前寺式(蓋受孔及び八角形 柱座ありく三段孔式)三重塔 現存)	放射状2	側柱礎12 } 完 四天柱礎4 } 存	"	6.42 m 21.19 尺	白鳳初期
法 輪 寺	" " " 三井	飛鳥寺式(蓋受孔あり。地下 式。再建塔あり)		側柱礎12 } 完 四天柱礎4 } 存	"	6.32 m 20.86 尺	"
室 生 寺	" 宇陀郡室生村	長林寺式(五重塔現存)		側柱礎12 } 完 四天柱礎4 } 存	"	2.45 m 8.08 尺	平安初期
長 林 寺	" 北葛城郡河合町穴間	"		側柱礎1			白鳳初期

塔跡名	所在地	心礎の様式	排水溝	側柱礎 四天柱礎	心礎の位置	塔の一辺長	推定年代
久度寺 (西安寺)	奈良県北葛城郡王寺町西安寺	長林寺式(心礎なりや否や疑問あり)					白鳳
石光寺	" " 当麻町染野	松前寺式(蓋受孔ありく三段孔式)舍利孔底に3個の小孔あり)					"
当麻寺東塔	" " " 当麻	元興寺式(三重塔現存)		側柱礎12 完存 四天柱礎4	原位置	5.32 m 17.55 尺	奈良
" 西塔	" " " "	" (")		側柱礎12 完存 四天柱礎4	"	5.2 m 17.1 尺	平安初期
阿倍寺	" 桜井市阿部	なし(地下式。基壇あり)					白鳳初期
粟原寺A	" " 粟原	川原寺式(銘付露盤あり)	環状1(穴の底) 放射状1	側柱礎12 完存 四天柱礎4		6.06 m 20 尺	白鳳
" B	" " "	" (一部欠損。再建塔のものか)					奈良
山田寺	" " 山田	飛鳥寺式(蓋受孔あり。地下式)		四天柱礎1	原位置	7.2 m 24 尺	白鳳初期
久米寺	" 橿原市久米	川原寺式(四天柱礎上に多宝塔あり)		側柱礎12 完存 四天柱礎4	"	10.76 m 35.5 尺	白鳳
田中庵寺 (法満寺)	" " 田中	長林寺式(心礎なりや否や疑問あり)					"
大窪寺	" " 大久保	松前寺式(蓋受孔ありく三段孔式)舍利孔方形)			ほぼ 原位置		白鳳初期
本薬師寺東塔	" " 木殿	" (蓋受孔ありく三段孔式)舍利孔の蓋あり)		側柱礎9 四天柱礎4	原位置	7.13 m 23.65 尺	白鳳
" 西塔	" " "	本薬師寺西塔式			原位置		"
和田庵寺	" " 和田	なし		側柱礎3			白鳳初期
本地光寺東塔	田 北葛城郡新庄町脇田	知識寺式(長方形の造り出しあり。交叉してもう1つ穴あり)			原位置		白鳳
本地光寺西塔	奈良県北葛城郡新庄町脇田	知識寺式			原位置		白鳳
地光寺	" " " 笛吹地光寺	なし(基壇あり)					奈良初期
飛鳥寺	" 高市郡明日香村飛鳥	飛鳥寺式(地下式。舍利孔く方形)側壁に小孔あり)	環状(方形) 放射状 4		原位置		飛鳥
豊浦寺	" " " 豊浦	土師寺式(再建塔心礎。上部破壊)			"		"
橘寺	" " " 橘	橘寺式(地下式。添柱穴3。方形造り出しあり)		側柱礎8 四天柱礎2	"	6.97 m 23 尺	白鳳初期
川原寺	" " " 川原	川原寺式(地下式)		側柱礎6 四天柱礎1	"	6.06 m 20 尺	"
定林寺	" " " 立部	" (地下式)		側柱礎5	"	5.76 m 19 尺	飛鳥~ 白鳳初期
大官大寺	" " " 小山	亡 矢(基壇あり) (松前寺式)					白鳳初期
松前寺	" " " 松前	松前寺式(地下式。塔跡中央に石塔あり)	環状1 放射状1 隧道式1	側柱礎11 四天柱礎4	原位置	7.6 m 25 尺	"
奥山久米寺	" " " 奥山	なし(塔跡中央に石塔あり)		側柱礎6 四天柱礎4		7.09 m 23.3 尺	飛鳥
南法華寺	" " 高取町	松前寺式(四天柱礎)(白鳳の心礎を四天柱礎に転用しその上に再建塔あり)					平安末期
露安寺	" 五条市露安寺町	露安寺式		側柱礎3		5.2 m 17 尺	平安初期
巨勢寺	" 御所市古瀬	松前寺式(蓋受孔ありく三段孔式)	環状3 放射状1 隧道式1	側柱礎4 (移動)	原位置		白鳳初期
大和高宮庵寺	" " 鳴神	なし		側柱礎10 四天柱礎2		5.52 m 18.2 尺	白鳳末期

塔跡名	所在地	心礎の様式	排水溝	側柱礎 四天柱礎	心礎の 位置	塔の 一辺長	推定 建造年代
龍門寺	奈良県吉野郡吉野町山口	長林寺式		側柱礎12 } 完 四天柱礎4	原位置	3.3 m 11 尺	白鳳末期
比曽寺東塔	" " 大淀町比曽	" (方形くり込みあり)		側柱礎11 } 四天柱礎1	ほぼ 原位置	4.9 m 16 尺	白鳳
" 西塔	" " " "	土師寺式		側柱礎9 } 四天柱礎3	原位置	4.88 m 16 尺	"
額田廃寺	三重県桑名市額田	なし(基壇あり)					"
鳳凰寺	" 上野市山田鳳凰寺	元興寺式?(出柄の痕跡も見 えず)		側柱礎4 } 四天柱礎3			奈良
伝天華寺	" 津市波見町	桧前寺式(半分のみ残存。も と天華寺にありし心礎と伝 う)					白鳳
伊勢薬師寺	" 一志郡嬉野町	知識寺式(半分のみ残存。補 足して植木鉢となる)					白鳳末期~ 奈良初期
夏見廃寺	" 名張市夏見	長林寺式(半分のみ残存)			原位置		"
神野野廃寺	和歌山県橋本市神野野町	川原寺式(心礎上に小祠あり)			"		白鳳
名古曾廃寺	" 伊都郡高野口町北 名古曾	桧前寺式(小堂の床下にある)			"		"
佐野廃寺	" " かつらぎ町 佐野	なし(基壇あり)					"
紀伊国分寺	" 那賀郡打田町東国 分	本薬師寺西塔式		側柱礎12 } 完 四天柱礎4	原位置	9.4 m 31 尺	奈良
西国分廃寺	" " 岩出町西国 分	桧前寺式(傾斜)	放射状2		ほぼ 原位置		白鳳
上野廃寺東塔	" 和歌山市上野	"		側柱礎1 } 側柱礎5	原位置		"
" 西塔	" " " "	"	放射状1		"	6.1 m 20 尺	"
山口廃寺	" " 谷西日吉	" (蓋受孔ありく三段 孔式))		側柱礎1	"		"
三栖廃寺	和歌山県田辺市下三栖	桧前寺式(小堂の床下にある)	放射状1		原位置		白鳳
岩井廃寺	鳥取県岩美郡岩美町岩井	" (方形の造り出しあり)	放射状1		"		"
因幡国分寺	" " 国府町国分 寺	本薬師寺西塔式(心礎なりや 否や不明)			"		奈良
寺内廃寺	" 気高郡気高町寺内	川原寺式			"		白鳳
菖蒲廃寺	" 鳥取市菖蒲	長林寺式		側柱礎1 } 側柱礎7 } 四天柱礎3	"	6.1 m 20 尺	白鳳末期~ 奈良初期
斎尾廃寺	" 東伯郡東伯町下槻 下斎尾	なし			原位置		"
栃本廃寺東塔	" 岩美郡国府町栃本	桧前寺式			"		"
" 西塔	" " " "	" (円形造り出しあり)			"		"
大御堂廃寺	" 倉吉市駄経寺大御 堂	川原寺式		側柱礎1			"
石塚廃寺	" " 石塚	桧前寺式(舍利孔は穴の底部 縁にあり)			原位置		"
大原廃寺	" " 大原	川原寺式			"		"
伯耆国分寺	" " 国府国分寺	なし		側柱礎1 } 側柱礎12 } 四天柱礎4	"	6.7 m 22 尺	奈良 白鳳
土師百井廃寺	" 八頭郡家町土師 百井	川原寺式			"		"
大寺廃寺	" 西伯郡岸本町大殿	桧前寺式(蓋受孔ありく三段 孔式)円形柱座の造り出しあり)			"		"
坂中廃寺	" " " 坂中	本薬師寺西塔式(出柄の上に 小孔あり。大きい割れ目あり)		側柱礎2	"		奈良末期
藤井谷廃寺	" 東伯郡関金町藤井 谷	長林寺式			"		奈良
教昊寺	島根県安来市野方町	桧前寺式(心礎上に小祠あり)			"		奈良初期
出雲国分寺	" 松江市竹矢町	なし(基壇あり)			"		奈良
神門寺	" 出雲市塩治	舞木廃寺式			"		奈良末期

塔跡名	所在地	心礎の様式	排水溝	側柱礎 四天柱礎	心礎の 位置	塔の 一辺長	推定 建造年代
天王平廃寺	島根県大田市羽根	捨前寺式(蓋受孔く方形)あり く三段孔式)舍利孔も方形)	放射状2		原位置		白 鳳
下府廃寺	浜田市下府	“(舍利孔と並んで穴 の底部に小孔あり。方形の造り 出しあり)			”		”
石見国分寺	” ” 国分町	なし		側柱礎5			奈 良
久米廃寺	岡山県久米郡久米町宮尾	長林寺式			原位置		奈良初期
橋原廃寺	” 英田郡美作町橋原	亡 失(基壇あり)					白 鳳
江見廃寺	” 英田郡作東町藤生	本薬師寺西塔式(出納磨耗)			原位置		奈良末期
美作国分寺	” 津山市河辺国分寺	不 明(心礎なりや否や不 明)					奈 良
大海廃寺	” ” ” 山手	長林寺式		側柱礎2	原位置		奈良末期
弓削廃寺	久米郡久米南町下 弓削	元興寺式(孔の半分が六角形)					奈 良
赤茂廃寺	” 上房郡北房町上水 田赤茂	捨前寺式(舍利孔あり。円形 造り出しあり。心礎は現在京 都市中京区姉小路烏丸にあり)		側柱礎1			白鳳末期
秦 廃 寺	” 総社市秦	長林寺式(方形造り出しあり)			原位置		白鳳初期
稻寺廃寺	” ” 南溝手	不 明(上に石塔あり)		四天柱礎4			白 鳳
幡多廃寺	” 岡山市幡多	幡多廃寺式			原位置		白鳳末期
貫田廃寺	” ” 貫田	なし(基壇あり)					白鳳初期
惣爪廃寺	” ” 西惣爪	捨前寺式			原位置		白鳳~ 奈良初期
岡田廃寺	” 吉備郡真備町岡田	なし		側柱礎3 四天柱礎1		7.6m 25尺	白 鳳
占備寺	” ” ” 箭田	長林寺式(孔底部後世丸く加工)					奈 良
八高廃寺	岡山県吉備郡真備町貫妹 八高	長林寺式			原位置		奈 良
関戸廃寺	” 笠岡市関戸	幡多廃寺式			”		”
備前国分寺	” 赤磐郡山陽町	不 明(七重石塔の台石と なる)			”		”
寺町廃寺	広島県三次市向江田町寺 町	長林寺式(心礎上に宝篋印塔 あり)		側柱礎2	”		白鳳初期
町廃寺 (吉田寺)	” 府中市元町	長林寺式			”		白鳳末期~ 奈良初期
小山池廃寺	” 深安郡神辺町	”		側柱礎2 四天柱礎4	”	6.6m 21.8尺	奈 良
備後国分寺	” ” ”	なし(基壇あり)					”
本郷平廃寺	” 御調郡御調町丸門 山本郷平	長隆寺式(南面に石を割るた めの溝あり)					白 鳳
宮の前廃寺	” 福山市蔵王町	長林寺式	放射状1	側柱礎3 (?)	原位置		奈良初期
和光寺	” ” 津之郷町津 之郷	長林寺式	放射状2				奈 良
慶徳寺	” 芦品郡新市町上戸 手	土師寺式(心礎は長神社境内 にあり)		側柱礎1			奈良初期
安芸国分寺	” 東広島市西条町	”		側柱礎12、完 存 四天柱礎4	原位置	8.8m 29尺	”
周防国分寺	山口県防府市国分寺町	なし					”
阿波石井廃寺	徳島県名西郡石井町	長林寺式		側柱礎6 四天柱礎4	”	5.38m 17.75尺	奈良初期
阿波国分寺	” 徳島市国府町	舞木廃寺式	放射状1				奈 良
立光寺 (郡里院寺)	” 美馬郡美馬町	飛鳥寺式(地下式)				6.4m 21尺	白鳳初期
讃岐国分寺	香川県坂出市国分寺町	不 明(長林寺式?) (心礎 上に石塔あり)		側柱礎10 四天柱礎4	原位置	10.06m 33尺	奈 良
鶴 廃 寺	” ” 加茂町山神	山王廃寺式			”		白鳳末期

塔跡名	所在地	心礎の様式	排水溝	側柱礎 四天柱礎	心礎の 位置	塔の 一辺長	推定 建造年代
開法寺	香川県坂出市府中町本村	山王院寺式	環状1 放射状2	側柱礎12、完 四天柱礎4	原位置	5.8 m 19 尺	白鳳
讃岐石井庵寺	“ 大川郡寒川町	川原寺式					“
始覚寺	“ 木田郡三木町井上	長林寺式(心礎上に石塔あり)			原位置		奈良
宝鏡寺	“ 丸亀市郡家町宝鏡	檢前寺式(蓋受孔ありく三段 孔式)	放射状1				白鳳
田村庵寺	“ “ “ 田村	長林寺式					“
白鳥庵寺	“ 大川郡白鳥町湊	“		側柱礎9 (移動)	原位置		白鳳末期~ 奈良初期
弘安寺	“ 仲多度郡滝濃町四 条	川原寺式					白鳳
伊予國分寺	愛媛県今治市国分甲	本薬師寺西塔式(出柄磨耗)		側柱礎8 (2個亡失) 四天柱礎4 (2個亡失)	原位置	10.2 m 33.7 尺	奈良
法安寺	“ 周桑郡小松町	なし		側柱礎12 四天柱礎3		6.1 m 20 尺	白鳳
長隆寺 (米往庵寺)	“ 松山市米往	長隆寺式(柱座の造り出しあ り。2片で合成結着するた めの溝あり)		側柱礎6 四天柱礎2		5.82 m 19.2 尺	“
比江庵寺	高知県南国市比江	檢前寺式			原位置		“
土佐國分庵寺 (仮称)	“ “ “ 国分	“					“
神興庵寺	福岡県宗像郡福岡町津丸	知識寺式					奈良
椿市庵寺	“ 行橋市椿市町福丸	川原寺式	放射状1		原位置		白鳳末期~ 奈良初期
善提庵寺	“ 京都郡勝山町松田	舞木庵寺式(心礎中心部隆起)		側柱礎12、完 四天柱礎4	“	5.15 m 17 尺	平安初期
豊前國分寺	福岡県京都郡豊津町国分	川原寺式(再建塔あり)		側柱礎3 あと後補	原位置		奈良
上坂庵寺	“ “ “ 上坂	檢前寺式(地下に埋没)			“		白鳳
木山庵寺	“ “ “ 犀川町木山	川原寺式(心礎上に石礎あり)					奈良
大分庵寺	“ 嘉穂郡筑穂町大分	“ (円形造り出しあり)	放射状2	側柱礎8 四天柱礎4	原位置	7.05 m 23.265 尺	白鳳末期~ 奈良初期
城の原庵寺	“ 福岡市西区下山門	長林寺式					奈良
筑前三宅庵寺	“ “ “ 南区三宅	知識寺式(柱座の造り出しあ り)	放射状1				“
筑前國分寺	“ 筑紫郡太宰府町	川原寺式	環状1(穴 の底) 放射状1 (石の割れ 目を利用)	側柱礎2 四天柱礎1	原位置	8.8 m 29 尺	“
観世音寺	“ “ “	“		側柱礎8 (移動)	“		“
塔の原庵寺	“ 筑紫野市塔の原	檢前寺式(蓋受孔く方形)あ り(三段孔式)舍利孔も方形)					白鳳
般若寺	“ “ “ 南	川原寺式	放射状1				奈良初期
晴気庵寺	佐賀県小城郡小城町晴気	“		側柱礎9 (移動8)	原位置		白鳳末期~ 奈良初期
大願寺庵寺	“ 佐賀郡大和町大字 川上宇大願寺	長林寺式					奈良
中村庵寺	熊本県山鹿市中	“			原位置?		平安初期
十速寺	“ 菊池郡七城町	“			原位置		奈良末期
稲佐庵寺	“ 玉名郡玉東町稲佐	川原寺式		側柱礎12、完 四天柱礎4	“	6.3 m 20 尺	平安初期 ~中期
肥後國分寺	“ 熊本市出水町	“		側柱礎4	原位置		奈良
宮寺	“ “ “ 二本木町	(長林寺式)(上部後世加工)					平安初期
水前寺庵寺	“ “ “ 出水町	長林寺式					平 安

塔跡名	所在地	心礎の様式	排水溝	側柱礎 四天柱礎	心礎の位置	塔の 一辺長	推定 建造年代
池辺寺 陣内廃寺	熊本県熊本市池上町 " 下益城郡城南町陣内	長林寺式(2つに割れている) 土師寺式		側柱礎5 (移動) 側柱礎12 四天柱礎1 側柱礎1	原位置		平安 白鳳末期
浄水寺	" " 豊野村	なし				5.15 m 17 尺	平安初期
古保山廃寺	" " 松橋町古保山	幡多廃寺式			原位置?		奈良
興善寺	" 八代市興善寺町	長林寺式(孔底部後世丸く加工)					"
悟徳寺廃寺	" " 宮地	幡多廃寺式			原位置		奈良末~ 平安
相原廃寺 豊後弥勒寺 虚空蔵寺	大分県中津市鶴居 " 宇佐市南宇佐 " " 駅前大字山本	川原寺式 なし(基壇あり) 川原寺式	環状1(穴の底) 放射状1	側柱礎11 四天柱礎4	原位置	5.3 m 17.5 尺	"
豊後国分寺	" 大分市国分	本薬師寺西塔式(心礎上に小堂あり)		側柱礎9	"	10.8 m 35.6 尺	"
薩摩国分寺	鹿児島県川内市御陵下町	川原寺式		側柱礎10 四天柱礎2	ほぼ 原位置	4.55 m 15 尺	"

- 注) 1. 心礎、側柱礎、四天柱礎のすべてまたは一部残存するもの、及び礎石はないが塔基壇の確認できたものを採録したが、大体平安時代以前のものに限り、順序は同一県内では大むね北より南の順に並べた。
2. 基壇は礎石の全く存在しない遺跡で、発掘調査により塔基壇の確認されたもののみにつきその旨を記載し、礎石のある遺跡に基壇があってもそのことを記載しなかった。
3. 薬師寺様式の伽藍配置の遺跡で心礎移動のためどちらが東塔か西塔が明らかでなくなったものはA塔、B塔とし、同一遺跡内に二つの心礎があるが東西両塔と認められず別の寺のものと思われるものは単にA、Bとした。
4. 創建当初の塔の遺存するものは奈良時代末期の当麻寺東塔及び一部に奈良末期建造説のある堂生寺までとし、当麻寺西塔以下は除外した。再建塔の建っているものも礎石が奈良時代以前のものに限り採録した。
5. 心礎様式中飛鳥寺式及び松前寺式は舍利孔のある様式であるから舍利孔のあることをとくに記載しなかったが、その他の様式のもので舍利孔のあるもの、及び飛鳥寺式、松前寺式、知識寺式で蓋受孔のあるものはいずれもその旨を記載した。
6. 心礎の位置は心礎が移動したという確証のあるもの以外はすべて一応原位置とした。
7. 推定建造年代は残存礎石の上に建てていたと思われる塔の建造年代で塔の草創はさらに古いものがある。
8. 心礎であるかどうか疑問の強いものから順に「疑問あり」「不明」「やや疑問」の三段階に分け、「やや疑問」のものは一応心礎と見て本文の心礎の分類に加えた。
9. 上植木廃寺、伽藍御堂廃寺、深草廃寺、泉橋寺、殿原廃寺、与井廃寺、紀寺、願興寺、朝妻廃寺、後月寺、天台寺など心礎につき明治以降の文献に記載のある遺跡も心礎のほか側柱礎などもすべて亡失し遺跡の所在が不明となったものは除外した。
10. 岡寺、片岡王寺、坂田寺、簀寺、額田寺、超昇寺、海会寺などには創建当初のものと思われる礎石が遺存するが、塔遺跡とは認められないので除外した。また河内普光寺伝来と伝う京都市左京区南禅寺碧雲荘内にある礎石及び東大寺伝来と伝う大阪市藤田美術館内にある礎石また岡山県または広島県出土と伝う京都市左京区玄塚土橋氏邸内にある礎石はいずれも出所不明なので除外した。

※(岩井隆次著『日本の木造塔跡』-心礎集成とその分析-(考古学選書20)昭和57年6月10日刊より転載)

期間 平成15年7月7日(月)～8月4日(月)

構成 立正大学博物館

～お問い合わせ～

TEL048 - 536 - 6150

E-mail : museum@ris.ac.jp